

令和 2 年 7 月 8 日
(公社)日本技術士会

令和 2 年度技術士試験第二次試験の実施について (ご報告)

標記の件について、以下により試験会場の確保及び試験運営の体制等の準備状況についてご報告いたします。

1 試験日程等

①試験実施日 令和 2 年 9 月 21 日 (月) ~ 22 日 (火)

②試験時間 12 時~14 時、14 時 30 分~18 時

(当初 10 時~12 時、(休憩 1 時間)、13 時~16 時 30 分)

- ・開始時間の変更については昼食リスクを回避するため(試験会場における昼食禁止)
- ・なお、集合時の密を緩和するため、入室可能時間を前倒し、余裕のある入場を促す。(45 分前入場→75 分前)

③筆記試験合格発表 令和 3 年 1 月上旬

④口頭試験期間 令和 3 年 2 月上旬~同年 3 月中旬

⑤最終合格者発表 令和 3 年 4 月下旬*

*上記の日が令和 3 年度技術士第二次試験の受験申込期間(例年 4 月上旬~4 月下旬)に迫っている場合等は、一部の受験者を対象に申込期間の延長、特例措置の検討をお願いしたい。

2 試験会場の確保状況

全 12 試験地、29 試験会場(現時点)において想定必要数を確保できる見込みであり、今後、選択科目の振り分け等の具体の座席を精査、確定していく。

ただし、試験日の変更による受験者の減や感染防止対策により試験会場の変更の可能性がある。

3 感染拡大防止対策

R1 再試験の措置を基本とし、追加の措置とともに感染防止対策を講じる。

R1 再試験で実施したもの

発熱、咳など風邪症状がある受験者等の受験自粛要請、マスク持参着用義務、消毒液の設置、昼食禁止(試験開始時間の変更)/混雑移動時リスク回避における試験開始時間の繰下げ、別室受験の手配、試験室の消毒・換気の徹底、試験監督員の体調管理等

(追加措置)

①入退場時等の密対策

集合時等の密を緩和するため、入室可能時間の前倒し・時間帯(45 分→75 分)の増及び退室時の誘導並びトイレ入口の導線、混雑をさけた利用等促す案内紙の掲示等を実施し、密対策を講じる。

②検温の要請

試験当日の各自による検温において発熱がないことを確認する。具体には受験票に自己検温欄を設け、記載及び提示を要請する。未検温者については、試験会場受付にて自己検温の実施及び記載等をさせる。なお、確認については、試験開始後の受験票チェック時においても実施する。

③フェイスシールド

試験室における試験監督員等はフェイスシールド（マスクと併用）を着用する。ただし、使用効果等の社会的評価をみて最終決定する。

4 その他

受験手数料の返還

再度の受験意思を確認し、変更後の試験日において受験できないとする受験者については、一定期間における申請に基づき、受験手数料の返還を実施する。